

## 食べる道徳授業のススめ

〜土幌町中央中学校〜



10月29日、土幌町中央中学校にて、フードディレクターの貫田桂一さんを講師に招き、「すなおな気持ちで考える道徳〜食べる道徳授業のススめ〜」をテーマに、道徳の特別授業が開催され、全校生徒151名が参加しました。

北海道教育委員会の「子どもの心に響く道徳教育推進事業」として開催。貫田さんは土壌と食材の味の関係や土幌の食べ物を題材に、「地元」の食材について考えることは、道徳の郷土愛を学ぶこと」と説明。ユーモアあふれる話し方で、生徒たちは何度も笑いながら道徳を学びました。

貫田さんは「同じ作物でも場所によって味が異なるので別の商品として高く売れる。将来働くときはそういったことも考えてほしい。たくさん勉強して土幌の名前を世界に轟かせてほしい」などと呼びかけました。

## アメリカから帰国!

〜土幌高校海外文化交流事業帰町報告会〜

10月29日、総合研修センター視聴覚室にて、土幌高校海外文化交流事業として9月18日から10日間の日程でアメリカ合衆国コロラド州へ派遣された生徒9名による報告会が開かれました。

今回で29回目となるこの事業は、アメリカコロラド州の高校で授業見学やホームステイなどを経験し、将来地域産業人となるための視野を広め、国際化時代に対応できる資質を養うことを目的に行われています。生徒らは土屋教育長と鈴木年秋土幌高校振興会長の前で、スライドを

使ってスモークキーヒル高校の生徒との交流や文化の違い、ホームステイ先のホストファミリーなどについて報告しました。赤間かのこさん（アグリビジネス科2年）は「ネガティブだった自分の考えを変えたくて参加した。日本よりもみんなが楽しそうに積極的に取り組む場の空気を感じ、自分も変われた」と感想を述べていました。

土屋教育長は「有意義な時間を過ごされたと感じた。それぞれの目指す目標に向かって突き進んでほしい」と激励しました。



## 消防団協力事業所 表示証を交付

〜(株)平田建設〜



11月1日、応接室にて、(株)平田建設（長谷川雅毅代表取締役）に消防団協力事業所表示証交付書を交付しました。

この表示証は、土幌消防団（末永秀雄団長）の活動に継続的・積極的に協力している事業所に対して町が交付するものです。同社は平成28年に消防団協力事業所として初めて認定され、2年ごとに更新し5回目の交付となります。

交付式には長谷川代表取締役のほか、同社から消防団員として活動している社員2名が出席。高木町長は長谷川代表取締役に交付書を手渡し「団員が徐々に減少している中、2名の方に入団いただいていることに感謝申し上げます。これからも消防力を維持・増進させるため、ご協力をお願いしたい」とあいさつしました。